

■受験対策ミニ講座 5号■

10月、いよいよ秋本番、調子はいかがですか？知らない言葉があっても“めげる”ことはありません。少しずつ積み上げていけば、きっと大きな力になります。

今回の科目は「地域福祉の理論と方法」。内容は「日本におけるセツルメント」ですが、ほとんどが「人物と業績」です。settlementは、学生や知識人がスラム街などに定住して住民の生活向上を援助する活動で、「ソーシャルワークの源流」のひとつとされています。19世紀末に始められ、ロンドンのトインビーホールやシカゴのハルハウスが有名です。

第5問「地域福祉の理論と方法」

〔28回34〕セツルメントに関する次の記述のうち正しいものを一つ選べ。

- 1 日本におけるセツルメント運動は、アダムスが岡山博愛会を設立したことに始まるとされている。
- 2 中央慈善協会は、全国の主要な都市で展開されていたセツルメント運動の連絡・調整を図ることを目的として設立された。
- 3 留岡幸助は、大崎無産者診療所を開設し、セツルメント運動に取り組んだ。
- 4 大原孫三郎は、セツルメントの拠点としてキングスレー・ホールを開設した。
- 5 賀川豊彦は、神戸の貧困地域でのセツルメントの実践を『貧乏物語』にまとめた。

■Plus Column・・・

【“丸暗記”より理解を！】

「覚えることが多くてたいへん！」と思いませんか？社会福祉の発展は近代以降のことなので、そんなにたくさんの「覚えるべきこと」があるわけではありません。

今回の「人物と業績」のようなテーマこそ「丸暗記」ではなく、どんな時代だったのか、なぜこういう活動を始めたのか等々を、深く理解していきましょう。まず“大きな時代の流れ”・・・19世紀のことか20世紀のことなのか、第一次世界大戦前か、第二次大戦後か・・・をおおまかに把握すればだいたい流れが見えてきます。

福祉の世界を切り開いてきた人々の熱い心に触れてください。毎日の仕事に誇りがもてるようになり、明日への希望が湧いてきます。「学ぶこと」の本当の意味は、ここにあるのではないのでしょうか。細かい数字などの「暗記」は直前に、今はしっかり福祉について学び、知識を深めていきましょう。

〔28回34〕の正解と解説

「日本のセツルメント運動」に関して正しいのは1。

セツルメント活動はグループワークの発展とも関係し、「相談援助の基盤と専門職」などの科目でも出題されることがあります。

1○

日本におけるセツルメント運動はアダムスが岡山博愛会を設立したことに始まるとされている。

2×

中央慈善協会は全国の主要な都市で展開されていたセツルメント運動の連絡・調整を図ることを目的として設立された。

中央慈善協会は慈善救済団体の連絡を図るために設立され、戦後の全国社会福祉協議会（全社協）の前身といわれます。

3×

留岡幸助は大崎無産者診療所を開設し、セツルメント運動に取り組んだ。
留岡幸助は巢鴨に家庭学校を設立するなど、感化事業で活躍した人物です。

4×

大原孫三郎はセツルメントの拠点としてキングスレー・ホールを開設した。
キングスレー・ホールを建設したのは片山潜です。

5×

賀川豊彦は、神戸の貧困地域でのセツルメントの実践を『貧乏物語』にまとめた。
賀川豊彦の著書は『死線を越えて』、『貧乏物語』の著者はジャーナリストの河上肇です。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 KDX 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus